



日本文化・茶道を体験 NJ補習授業校の園児ら

ニュージャーシー補習授業校（屋敷長利校長）で5日、父母の会行事委員主催による「お茶会」が開催された。

日本文化の一端に触れることのできる貴重な機会とすることで、幼児部の年中・年長組の子供たちが招待され茶道を体験をした。

年長組の子供たちはゴザの上に正座し、年中組の子供たちは椅子に座っての参加となった。最初に講師である北澤恵子先生からお茶まつわる話を聞き、「お茶はどうやってつくるの？」など素朴な疑問が次々と出された。続いて、作法の一つである礼の仕方。両手で三角形を作り、そこへ自分のおでこをくつつけるようにして礼をするのだが、初めての子供たちがほとんどで、一生懸命身体を丸くさせながらチャレンジする姿が微笑ましかった。

いよいよ北澤先生がお茶を立て始めると、好奇心旺盛な子供たちは身を乗り出しながらじつと先生の手元を見つめていた。一番前に座った子供が先生からお茶をいただき、「お先に失礼します。」と言って飲んだ。そのときのなんとも言えない表情。

その後、一人ひとりにお茶が手渡されると、「うー、にがー」「おいしい」など感想はさまざまだったが、まさに日本の伝統文化を味わうことができた。

最後に感謝の気持ちを込めて、勉強したばかりの「礼」で締めくくった。約30分間の体験だったが、子供たちは静かに集中して取り組むことができた。